

令和5年度 第1回富里市行政改革推進審議会
会 議 録

〔日時〕 令和5年12月21日（木）

13：30～14：45

〔場所〕 富里市役所本庁舎3階第3会議室

■ 出席者（順不同）

- （会長） 寒郡茂樹委員
（副会長） 町田 弘委員
本橋幸子委員
石川賢治委員
浦辺隆司委員
沖田健二委員
（事務局） 原経営戦略課長、藤田課長補佐、
成毛主査、若梅主事
（傍聴者） なし

■ 次第

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 議題
(1) 第3次行政改革大綱改革プランの令和4年度実績について
- 4 その他
- 5 閉会

■ 配布資料

- ・ 会議次第
- ・ 富里市第3次行政改革大綱（令和4年度改革プラン実績）

会議録

1. 開会

2. 会長あいさつ

寒郡会長よりあいさつ

(その後、沖田委員→浦辺委員→原経営戦略課長あいさつ)

3. 議題

(1) 第3次行政改革大綱改革プラン（令和4年度実績）について

【会長】

- ・事務局より説明を求める。

〈資料を基に事務局より説明〉

【会長】

- ・それでは委員の皆様から意見等を1人ずつ伺いたい。

【委員】

- ・市税等の滞納繰越等については担当課で工夫していると思うが、富里市は徴収率が高い方ではないため、さらに担当課で工夫し、数字が上がっていけば良いと思う。

【事務局】

- ・令和5年度は11月に徴収強化月間を設定し、担当課等で電話催促を行い、いつも以上に強化を図っているが、引き続き徴収率向上に努めていく。

【委員】

- ・また、どうしても取れない場合は、大胆に欠損処分することも必要ではないかと思う。

【事務局】

- ・引き続き徴収率向上に向け検討していく。

【委員】

- ・国民健康保険税の徴収率が低いので、徴収率向上に向けた更なる取組が必要と感じる。
- ・人材育成はとても良いことだと思う。富里は農村地域が主であるため、若い人材を育てる必要がある、高齢化が進むと産業が衰退してしまう。そのため、若い世代が活躍できる場を作ってほしい。しかし、行政だと堅苦しく感じるため、イベントを通じて地域の居場所づくり・つながりの強化等で、町全体をPRできるものを作ってほしい。
- ・自主防災組織について、小学校区で防災に力を入れているが、4団体以外の残りの団体は支援しているのか、それとも設立が難しいのか。
- ・末廣農場をもう少し上手く活用できないか。もったいない等の意見をよく聞く。

【事務局】

- ・自主防災組織については、市内で6団体自主防災組織として学区ごと

で立ち上がっておりそれぞれ活動している。令和4年度の自主防災組織支援事業補助金については、資機材購入等で4団体に支出しているということで、残りの団体も活動している。

- ・若者の人材育成等については、これからも取り組んでいく。
- ・末廣農場について、各課長等が定期的に今後のイベントや現状について検討し、課長のみでなく他の課員等から意見を聞き、打合せをしている。イベントを通じながら周知できればと検討している。

【委員】

- ・令和2年度と比較して、実績結果がわかりやすく良い。

【事務局】

- ・年々良いものができるよう努めていく。

【委員】

- ・光熱水費については、「とみさとエナジー」による取組等で対応している様だが、電気代の上昇で太陽光発電等の検討はしているのか。

【事務局】

- ・契約した際はあくまで電気料金の削減を目的に価格重視で契約した。次の電気料金の契約切替時に向けて、クリーンエネルギーの取入れも含め少しずつ検討している。
- ・令和4年度実績ではないが、公共施設に車の電気充電器設置を進めている。

【委員】

- ・財政状況が好転していると市長が言っていたが、要因は何か。
- ・デマンド交通について、評判は非常に良いがこのまま運用を続けていくことで財源も含め問題はないのか。
- ・資源ごみ（布・紙）の回収を始めたことについて、当初の予定と現状で乖離しているが、どのように考えているのか。

【事務局】

- ・財政状況の好転については、地方債の借入れ額を抑制してきたことで返済額も減少してきたことや、財政調整基金への継続的な積み立てが大きな要因と思われる。
- ・デマンドの利用率が向上している。現在便数契約（一便いくら）をしており、来年度に向けて借上げ方式（一日一台いくら）に変えていくことを検討中。
- ・資源ごみ（布・紙）の収集場所回収については、想定した量が出ていないが、可燃ごみの減量と概ね各月市役所等で行っている回収及び各団体等で行っている資源回収の他に市民に出货していただく機会の拡大を目標に始めたものである。引き続き周知の徹底を行っていく。

【委員】

- ・消防の広域化、農林業センターの有効な活用について、方向性を検討してほしい。
- ・成田空港がこのあたりの経済の核であることから、外国人人材の確保は喫緊の課題だと思われる。富里は農業が主で従事している外国人も多いが、今後住民の方と外国人人材が入ってきたときの違和感が生じてくる。富里市も外国人の方と住民のコミュニケーションをスムーズに進め、もっと互いに働きやすい環境の整備をしなければならない。

【事務局】

- ・ 消防の広域化、農林業センターの活用について引き続き検討していく。
- ・ 外国人関係について、現在市民活動推進課が中心となって多文化共生推進プランを検討しているため、委員の御意見を担当課に伝え今後検討していく。

【委員】

- ・ D－OODAループについて現場において臨機応変というのは、組織において権限の委譲をするということか。

【事務局】

- ・ D－OODAループは令和4年度から取り組んでいる。誰が判断する等の明確な決まりはなく担当課の取組の中で、責任者等の判断を仰ぎながら取り組んでいく仕組みとなっている。

【委員】

- ・ スピード感、臨機応変さが問われる。行政は動きが遅い部分があるため、このような取組は評価できる。

【事務局】

- ・ 試行錯誤中だが、しっかりと取り組んでいけるように努めていく。

【会長】

- ・ 他に補足や意見はないか。
- ・ 議題は以上とさせていただきます。

〈議事終了〉

4. その他

【事務局】

- ・ 当審議会については、来年度も同じような形で開催させていただきたい。
- ・ 令和4年度に策定した新たな総合計画に基づき、各種施策の推進を図っているところであるが、行政評価の推進として、その中の第二次政策実行計画（令和7～9年度）の策定にあたっては、外部の評価を取り入れながら策定していきたいと考えているため、次年度は当審議会の皆様に外部評価という部分で御協力をお願いしたい。

5. 閉会